

各関係機関団体の長 }  
各病虫害防除員 } 殿

福岡県病虫害防除所長  
(福岡県農林業総合試験場病虫害部予察課)

技術情報第3号

イチゴ炭疽病の潜在感染状況について

イチゴ炭疽病の潜在感染状況を調査した結果、潜在感染株率は過去8か年平均より高い状況でした。現在、巡回調査ほ場での発病は認められませんが、今後の気象条件(高温・多雨)によっては感染拡大が懸念されますので、防除の徹底を指導願います。

1 対象作物名：イチゴ

2 病虫害名：炭疽病

3 発生状況

- (1) 7月2半旬に県下10か所の育苗床の苗から小葉を採取し、エタノール噴霧法による炭疽病の潜在感染株調査を行った結果、潜在感染株率は過去8か年平均より高く、前年より非常に高かった。また、潜在感染株確認ほ場率も、過去8か年平均・前年よりやや高かった。(表1)
- ・潜在感染株率 **38%** (前年 11.4%、過去8か年平均 28.2%)
  - ・潜在感染株確認ほ場率 **80%** (前年 66.7%、過去8か年平均 77.5%)
- (2) 7月5半旬に巡回調査を行った結果、発病株率は平年・前年並で、発生ほ場率は平年よりやや低く、前年並であった。(図1)
- ・発病株率 **0%** (前年 0%、平年 0.23%)
  - ・発病ほ場率 **0%** (前年 0%、平年 9%)

4 防除上注意すべき事項

- (1) 巡回調査においては現在のところ確認されておらず、また、向こう1か月の気象予報(7月24日付福岡管区气象台発表)でも、気温・降水量ともほぼ平年並とされており、多発を招くような予報ではない。しかし、潜在感染株率は高いので、ほ場をこまめに見回り、発病株及びその周辺株は速やかに除去・処分し、発病が拡大しないよう努める。
- (2) 発病後に治療できる薬剤はないことから、感染を防ぐために予防散布を徹底する。
- (3) 降雨、台風の前夜や摘果後にも薬剤散布を行う。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- (4) 急激な肥効は発病を助長するので、肥培管理に注意する。
- (5) 雨よけビニルや寒冷紗を被覆しているほ場では、風通しを良くする。
- (6) 低温処理時の注意事項
- ア 夜冷短日処理や低温暗黒処理は、苗へのストレスがかかり発病を助長するので、入庫前に生

育状況を確認し、必ず健全苗を用いる。

イ 入庫する際は、過湿を防ぐため、苗を詰めすぎないように注意する。

ウ 入庫前および陽光処理時のかん水は、過度にならないように注意する。

表 イチゴ炭疽病の潜在感染株率の調査結果<sup>1)</sup>

(単位：%)

調査地点 <sup>2)</sup>	本年度(H26年度)	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	過去8か年平均
糸島市	40	0.0	10	20	40	16.3
福津市	—	5.0	0	0	15	6.4
久留米市1(宮ノ陣)	—	10.0	5	10	30	15.0
久留米市2(田主丸)	30	0.0	25	5	25	10.6
筑前町	70	0.0	65	40	30	22.5
飯塚市	—	10.0	90	25	55	37.0
福智町	0	10.0	75	10	85	25.6
八女市1(黒木)	—	60.0	40	35	50	22.5
八女市2(蒲原)	50	0.0	65	—	15	15.7
筑後市	40	0.0	85	20	85	38.6
大川市	—	5.0	35	10	75	21.3
みやま市高田町	—	50.0	95	90	100	46.3
大木町	85	15.0	20	20	55	21.9
広川町1(太田)	40	5.0	55	75	50	29.3
広川町2(水原)	—	15.0	25	100	25	23.8
岡垣町1(野間)	25	0.0	25	35	75	40.0
岡垣町2(吉木西)	—	25.0	40	40	85	44.4
行橋市	—	15.0	35	35	27	24.0
豊前市1(荒堀)	—	5.0	90	60	45	45.6
豊前市2(久路土)	—	10.0	60	75	85	44.3
みやこ町	0	0.0	80	100	60	52.5
潜在感染株率(%)	38	11.4(3) <sup>3)</sup>	48.6(50.5)	40.3(36.1)	52.9(50.5)	28.2(25.7)
潜在感染株確認ほ場率(%)	80	66.7(30) <sup>3)</sup>	95.2(100)	95(100)	100(100)	77.5

注) 1. 本年度は噴霧法、H25年度までは浸漬法で実施

本年度処理日：7月15日 本年度判定日：7月29日(28℃で2週間静置)

2. イチゴ育苗期定点巡回調査ほ場から、1地点20株、1株当たり1複葉を採取

3. ( )内は、本年度調査地点のみで算出した数値。

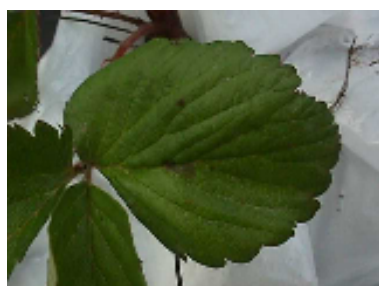
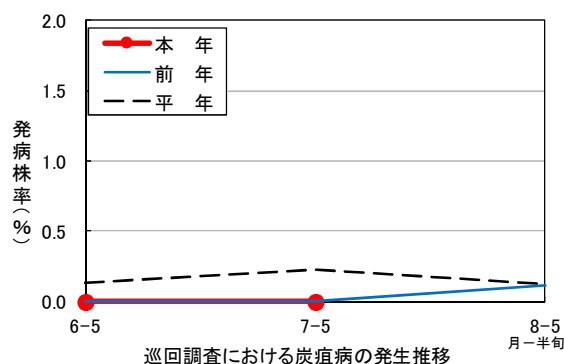


写真1 炭疽病による葉の汚斑



写真2 炭疽病による葉柄の褐変